

「高松市総合都市交通計画」の推進

～人と環境にやさしく 快適で利用しやすい 公共交通体系の構築～



高松市の概要



【人口】 約42万人

【面積】 約375km²

【位置、気候】

- ・ 長く、四国の玄関として発展(宇高連絡船)
- ・ 瀬戸内海に面し、温暖・少雨
- ・ 傾斜が緩い地形

【最近の概況】

- ・ S63 瀬戸大橋開通
- ・ H元 新高松空港開港
- ・ H4 四国横断自動車道の市域内延伸
- ・ H11 中核市へ移行
- ・ H17年度 周辺6町と合併



総合都市交通計画策定までの流れ

H14年 高松市総合都市交通計画

- ・ 少子・超高齢社会の到来や、地球規模での環境問題など、社会経済情勢の大きな変化
- ・ 平成17年度の近隣の6町との合併

上位計画の更新

●第5次高松市総合計画(H20.2)

道州制時代に中枢拠点性を担えるまちを目指し、拠点性を高める交通網整備のほか、快適で人にやさしい都市交通の形成に努める。

●都市計画マスタープラン(H20.12)

都市構造実現のための交通体系として、多様な交通手段が有機的に連携し、過度に自動車に頼ることなく、すべての市民が安全で快適に移動できる、環境にやさしい、公共交通を基軸とした利便性の高い総合交通体系の構築を目指す。

関連計画の策定

●高松市環境配慮型都市交通計画(H22.1)

歩いて暮らせる環境負荷の小さいまちづくりに必要な交通体系を構築することにより、地域における地球温暖化対策を推進

●高松市交通戦略計画(H22.7)

新交通システムの必要性及び導入の可能性を中心に、高松市が目指す交通体系の実現に向けた戦略的施策を検討

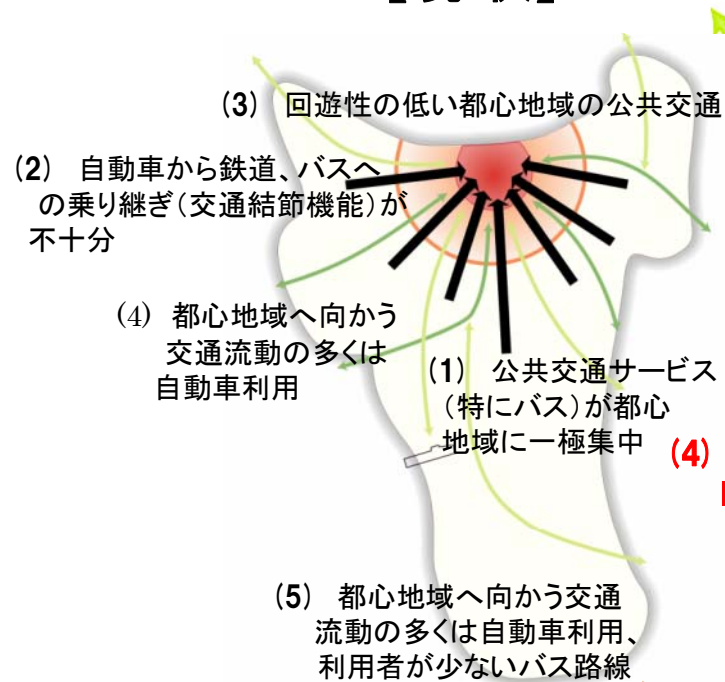
●高松地区における自転車を利用した都市づくり計画(H20.11)

自転車利用の有効活用、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保、人と環境にやさしいまちづくりなどの自転車利用の促進

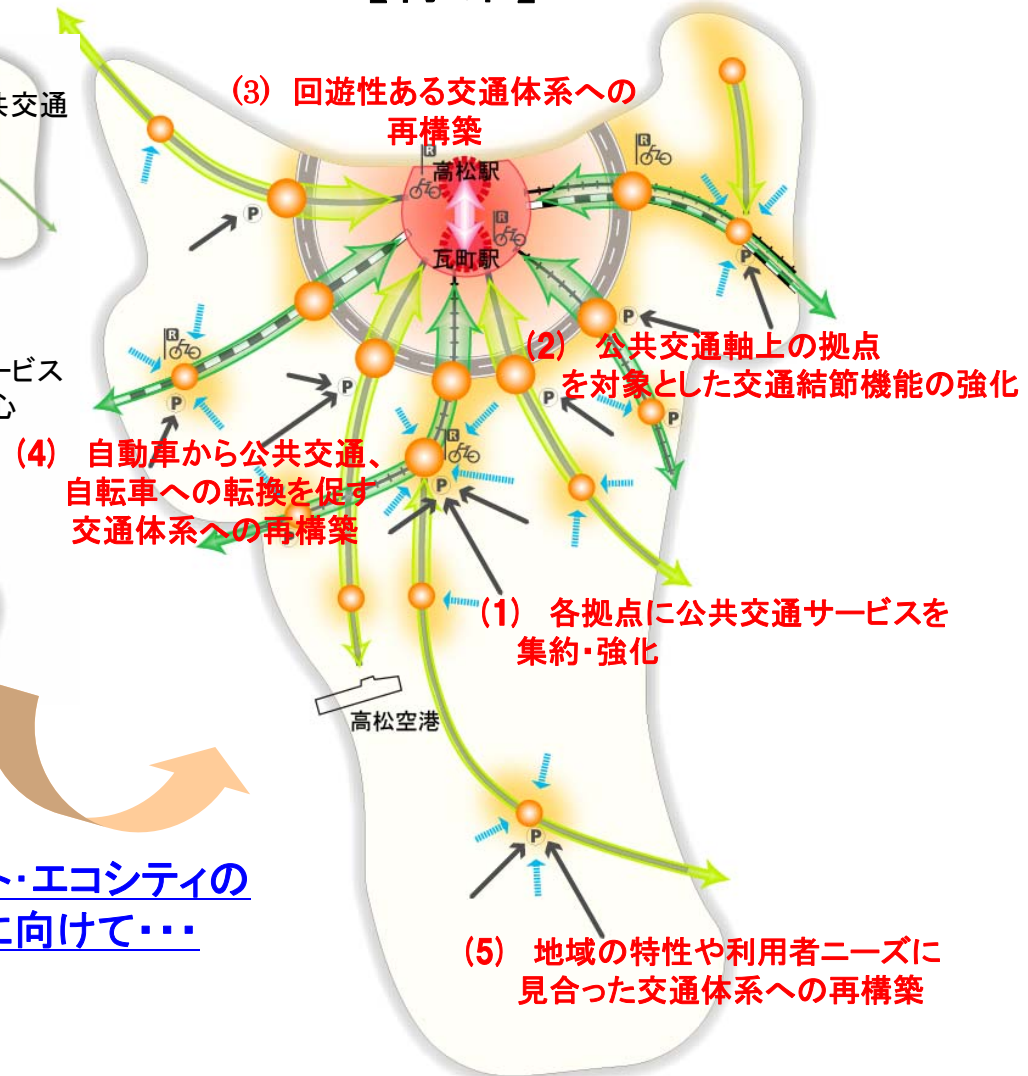
H22年 高松市総合都市交通計画

高松市総合都市交通計画の目指す姿

【現 状】

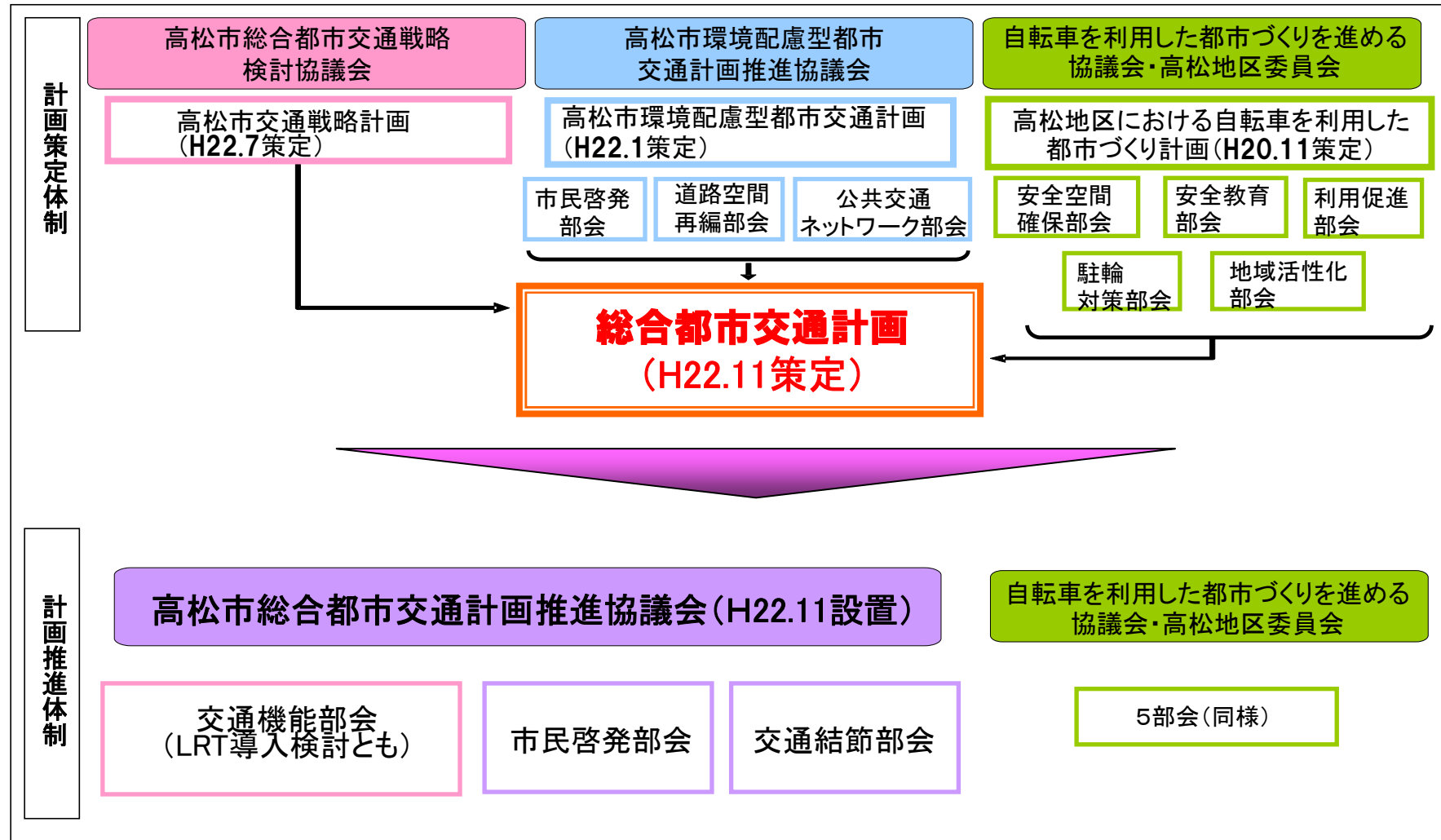


【将 来】



コンパクト・エコシティの
実現に向けて…

高松市総合都市交通計画の推進体制



取組事例～公共交通利用促進～「バス運行社会実験」①

なぜ「社会実験」が必要なの？

人口の減少とともに、このままでは
市の活力も低下してしまいます

上側の図のような、今後直面する高齢化社会、地球温暖化等の問題解決に向け、
高松市は持続可能な**コンパクトなまち**を目指しています。



そのためには…
交通環境を再構築する必要があります

現在の
「交通」が抱える
問題点

自動車よりも公共交通が不便である！

- ① 行きたい場所には車がないと行けない…
- ② 中心部で、ちょっとした距離でも乗れるバス等があれば…
- ③ バスは通ってるけど、運行本数が少ない… など

この問題点を変えていく手始めとして



まず、上記2つの地域で
社会実験を実施します！

その他、幅広い施策を講じながら
新交通システムの導入など、市民のみなさまが快適で
利用しやすい交通体系の構築につなげていきます。

取組事例～公共交通利用促進～「バス運行社会実験」②



社会実験 運行開始!!

運行期間 平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

バス&レールライド

まるで電車が延長したような感覚

① 全てのバスが
電車に接続

15分
間隔で運行

② 改札～バス停まで
50m!

スムーズに
乗換えられます

③ 料金は
電車相当!

70円
(こども・障がい者 40円)

IruCa 使えます。回数・乗継割引が適用されます。



太田駅
片道**12分**
サンメッセ香川

路線	平日	土・日・祝
太田駅	7:05 15分 20:35	8:05 15分 19:05
サンメッセ香川	6:57 15分 20:27	7:57 15分 18:57

P&R駐車場も完備
予約者募集中 (087) 821-3033

都心地域 ちょいのりバス

高頻度
乗り遅れても、すぐに
次のバスが来ます。

20分
間隔で運行

ちょいのり
バス停留所の距離が短い!

100m程で
行きたい場所へ

低料金
1日
100円
(こども・障がい者 50円)
1日乗り放題 **200円**

IruCa 使えます。回数・乗継割引が適用されます。



JR高松駅 ①番
片道**25分**
ことでん瓦町駅 ③番

時間表

路線	平日	土・日・祝
JR高松駅	9:00 20分 17:00	
ことでん瓦町駅	8:50 20分 17:30	

**商店街でお買い物をすれば
利用券がもらえます**

なぜ「社会実験」?
詳しくは裏面をご覧ください。

高松市 市民政策課 交通政策課 ☎(087)839-2138

ことでんバス株式会社 ☎(087)821-3033

詳しい情報はWebで <http://www.kotoden.co.jp/publicity/bus/experiment/iru/index.html>



取組事例～公共交通利用促進～「バス運行社会実験」③

なぜ「社会実験」が必要なの？

高松市は、今後直面する高齢化社会、地球温暖化等の問題解決に向け、社会実験の実施などを通じて市民のみなさまが快適で利用しやすい交通システムを構築するなど持続可能なコンパクトなまちづくりを推進します。



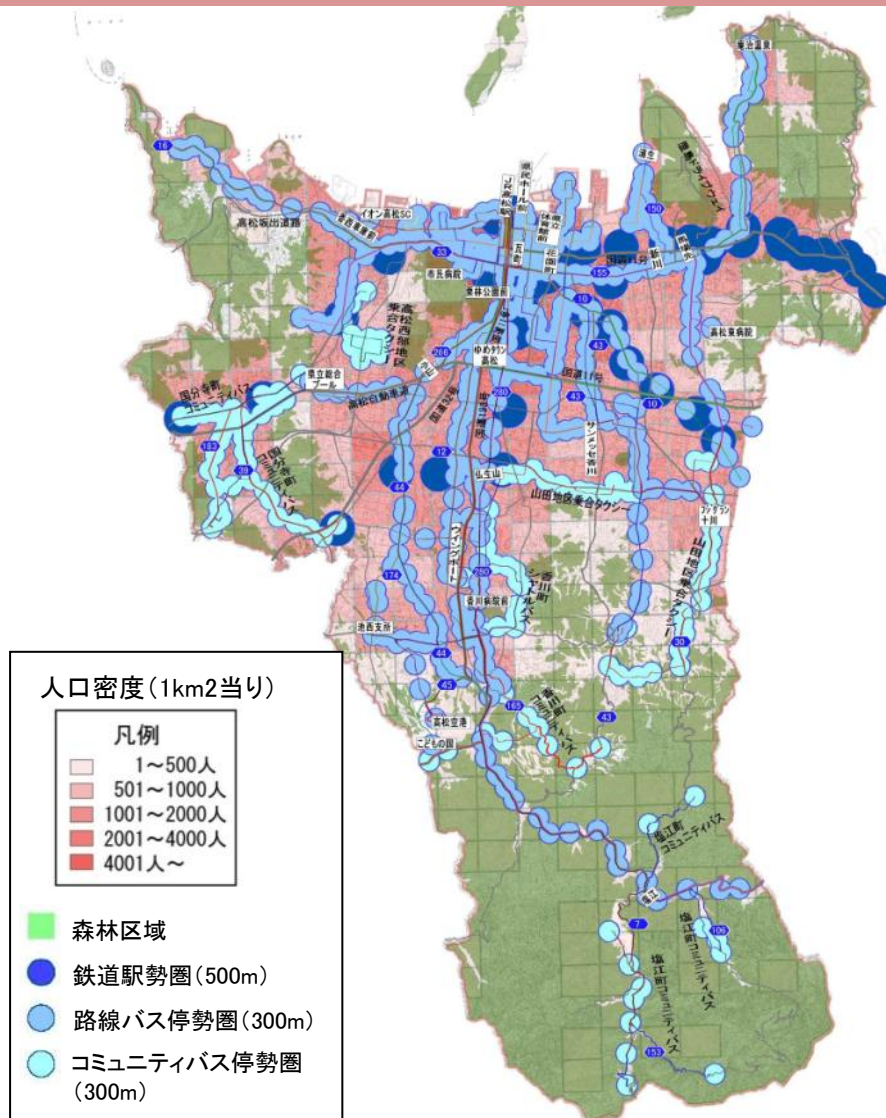
きれいな空気で街も人もイキイキ！

活気あふれるマチに大変身！



取組事例～公共交通利用促進～

「地域組織主体のコミバス導入支援」



※ 赤色の濃い箇所が、人口密度が高く、鉄道駅・バス停勢圏からはずれた箇所である。

【市の支援に係る基本理念】

- ・ 交通空白ないし交通不便地域において、地域コミュニティ組織が運行主体となり、利用の促進を始め、一定の地域負担(寄付金・協力金や地域での回数券購入、世帯割負担金など)を行うものであること
⇒地元の利用なくして持続性はない
- ・ 市としても最低限の移動を支える便については、手厚く補助
- ・ 利用実績が減少する場合には、市補助率が低減
⇒利用の喚起

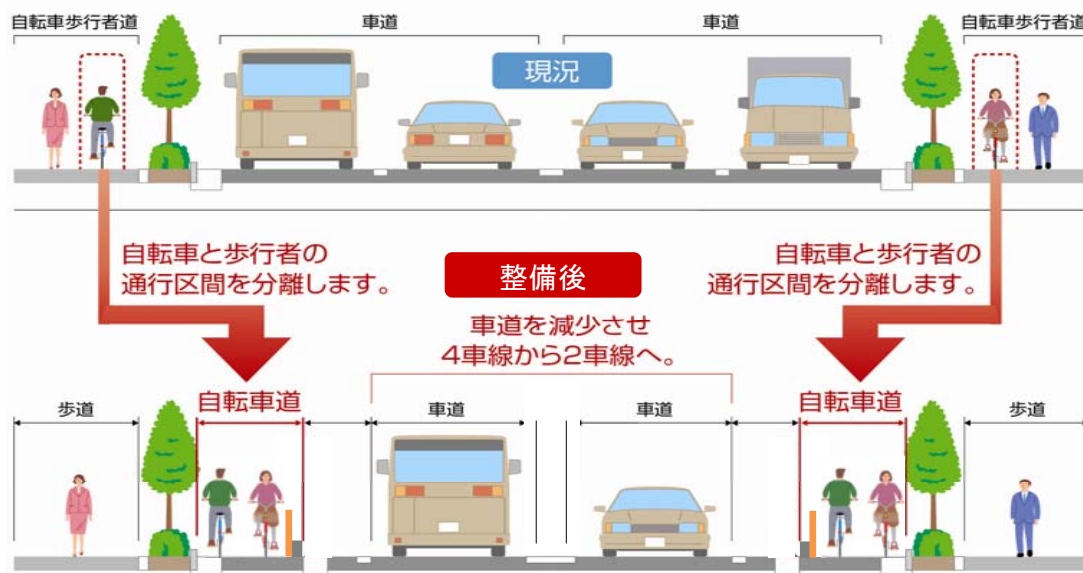
取組事例～自転車利用促進～「自転車走行空間整備」

◆ 概要

自転車交通量が多く、車道車線数の削減が可能な路線において、自転車専用レーンを整備
(防護柵、縁石等による分離、原則両側設置)

◆ 代表路線

市道 五番町西宝線(22年度より整備)



【整備イメージ】



【経緯】

- ・ H20.1 「自転車通行環境整備モデル地区」指定
- ・ H21.2 社会実験実施(3週間)

安全空間確保部会で整備詳細協議

- ・ H22.2 : 五番町西宝線1.8km区間について、整備を公表(現在、整備中)

取組事例～自転車利用の促進～ 「IC化によるレンタサイクルの利便性向上」

【放置自転車を活用したレンタサイクル事業】

◆ 経 緯

駅周辺の放置自転車問題の深刻化
利便性の高い端末移動手段の確保

- ⇒
- ・ H12.11 社会実験を実施
 - ・ H13.3 条例・規則制定

◆ 事業概要(現在)

- ・ レンタサイクルポート: 7箇所
- ・ レンタサイクル台数: 約1,250台
- ・ 受付時間: 7:00～22:00
- ・ 利用料金: 100円/日、他に定期料金設定

◆ 利用状況(H21年度決算)

- ・ 収入: 約29百万円、支出: 約53百万円
- ・ 年間約31万人が利用

※ 22年度において、管理人件費削減のため、
システム再構築を行った。

(総務省ユビキタスタウン構想)

レンタサイクルポート



「カーフリーデー高松の開催」

第4回カーフリーデー高松

2011.9/19(祝) 11:00~17:00

菊池寛通りを主会場に美術館通りも開催

当日は、菊池寛通り、美術館通り（ともに中央通りからフェリー通りまでの区間）が車両通行止めになります。（10:00～18:00）

同時開催 EVENT

- 獅子舞王国さめき2011**
 国際的獅子舞が一斉乱舞！
 イベント会場や南新町・常盤町・
 田町商店街が大獅子舞ストリートに！！
<http://tokiwagai.net>
- IruCaカード
タイアップ企画**
お買い物でポイントがたまる「IruCa」カードの活用方法をご紹介します。
 高松市の各店舗でIruCa（サンバード・高松市観光局）と連携したキャンペーンを実施します。
 お買い物でポイントがたまる「IruCa」カードの活用方法をご紹介します。
 - 2倍に！
 - 5倍に！
 - 10倍に！
 - +50ポイント！

菊池寛通り
美術館通り

随タクで
スイスイ乗っかん!

らんま先生の
楽しいエコ実験

カーフリーデーとは？

ヨーロッパで始まった「車の使い方」を見直すための社会啓発イベントです。都心部において道路を歩行者に開放することで、みなさんに車のない都市環境を体験してもらい、その変化について考えてもらうという、とてもエコな取り組み。さあ、マイカーをおいて、公共交通機関、自転車やウォーキングで街へ出よう!

わいわい
みんなで読書会
アート!

ミニ電車
GO!GO!高松

主催：カーフリーデー高松推進協議会・高松市 ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーに関する情報 <http://www.cfdjapan.org/>

※本イベントにつきましては、天候などにより内容が変更・中止となる場合がございますのでご了承くださいませ。



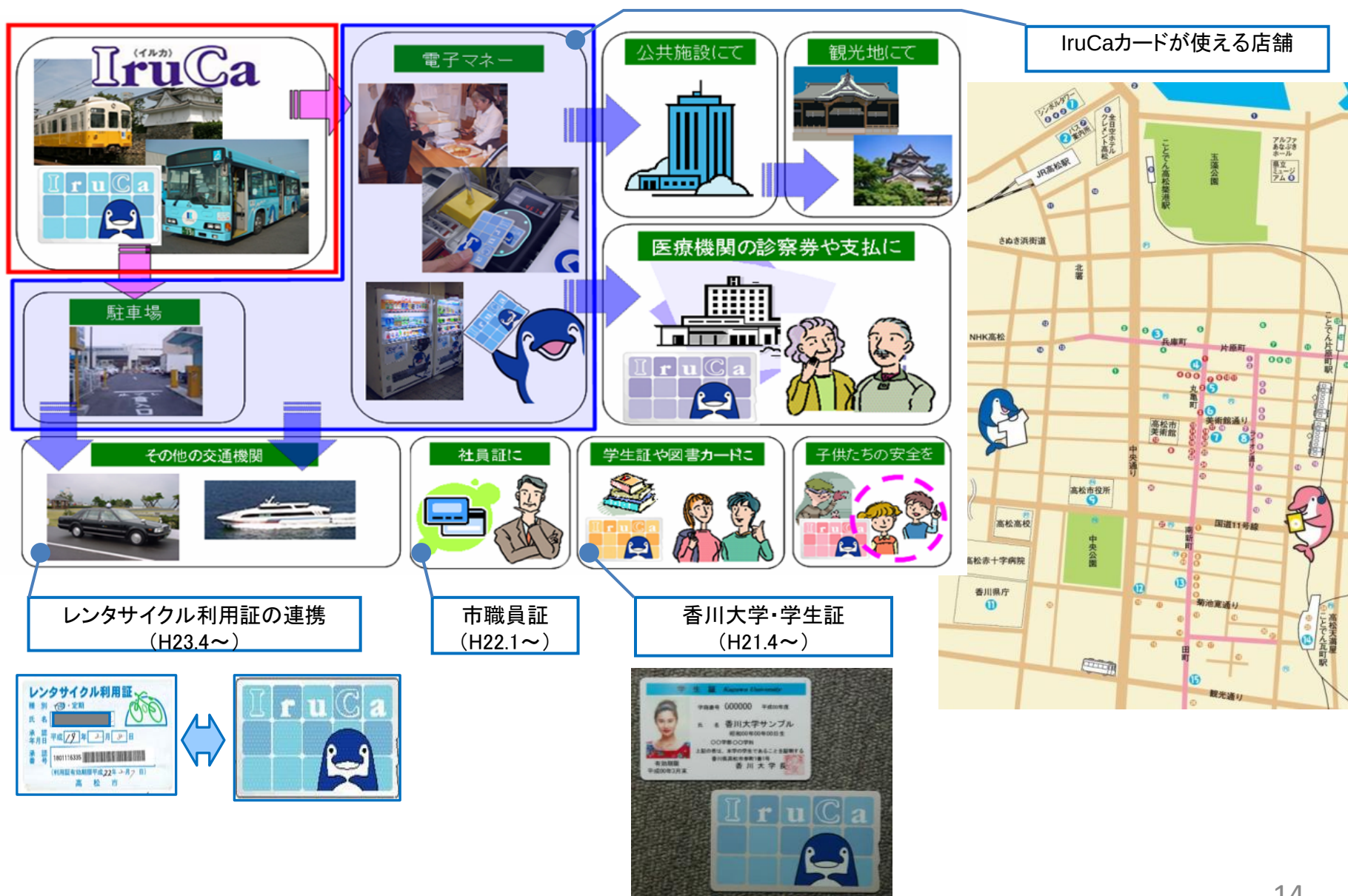
- 4回目となる今年度は、開催場所を2会場に拡大し開催
(平成23年9月19日(月:敬老の日))
- 当日は、午後から雨模様となったが、エコ実験ショー、音楽ライブ、おもしろ自転車試乗、ミニ電車の運行など、予定していた多彩なイベント・啓発事業を全て予定どおり実施
- 両会場合計で約25,000人の来場
- 新聞やテレビ・ラジオ等で取り上げられ、「カーフリーデー」という言葉とともに、「車の使い方を見直そう」という趣旨が、市民に浸透しつつある。

取組事例～市民に対する啓発活動～「バスマップ配布」

- 公共交通事業者や関係機関が作成する路線図、時刻表を確保するなど、情報提供に必要な資料を整え、市への転入者やマイカー通勤者に提供している。
- より多様な交通手段を取りまとめたマップの作成が課題となっている。



取組事例～交通事業者と地域の連携～「交通系ICカード」



ご清聴ありがとうございました。